



平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社やまや

コード番号 9994 URL <http://www.yamaya.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 社長執行役員 (氏名) 山内 英靖

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員社長室長 (氏名) 久野 朋美

TEL 022-742-3115

四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	26,906	0.1	961	40.3	1,030	49.5	631	118.0
23年3月期第1四半期	26,873	2.7	685	100.4	689	102.9	289	84.6

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 613百万円 (118.3%) 23年3月期第1四半期 281百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	64.06	—
23年3月期第1四半期	29.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第1四半期	33,334	16,794	50.4	1,703.10
23年3月期	32,593	16,348	50.2	1,657.85

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 16,794百万円 23年3月期 16,348百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	17.00	17.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	17.00	17.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	57,500	3.8	1,400	14.7	1,450	15.6	700	0.4	70.98
通期	116,000	5.2	2,870	4.2	3,000	5.1	1,400	73.1	141.96

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	9,861,700 株	23年3月期	9,861,700 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	283 株	23年3月期	283 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	9,861,417 株	23年3月期1Q	9,861,496 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は今後の様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項は、4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

【添付資料】

添付資料の目次

1.	当四半期決算に関する定性的情報	P	2
(1)	連結経営成績に関する定性的情報	P	2
(2)	連結財政状態に関する定性的情報	P	3
(3)	連結業績予想に関する定性的情報	P	4
2.	サマリー情報（その他）に関する事項	P	5
(1)	当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P	5
(2)	四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P	5
(3)	会計処理の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P	5
3.	四半期連結財務諸表	P	6
(1)	四半期連結貸借対照表	P	6
(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P	8
	四半期連結損益計算書		
	第1四半期連結累計期間	P	8
	四半期連結包括利益計算書		
	第1四半期連結累計期間	P	9
(3)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P	10
(4)	継続企業の前提に関する注記	P	11
(5)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期におけるわが国経済は、東日本大震災の影響で、サプライチェーンの不全による供給不足、放射能の風評、電力不足、原油価格上昇などが連鎖し、景気の下ぶれが懸念されました。

酒販業界では、震災後、自粛と節電で、業務用の需要がさらに減退し、また、ご家庭の需要も依然として低価格志向で、デフレ傾向が続いております。

このような中、当社グループは、東日本大震災からの早期復旧と、会社設立41周年目の再創業、やまやルネッサンスを合言葉に、各種施策に取り組んでまいりました。

既存店の活性化を図るため、輸入商品、地域商品の両面でお品揃えの強化に努め、家庭需要、家飲みの新しいお客様数の増加を図りました。

門戸厄神店（西宮市）、六甲道店（神戸市）、南津守店（大阪市）、小牛田店（宮城県美里町）、東鶴ヶ谷店（仙台市）の期中5店舗の改装を実施しました。

その中でも、酒ディスカウントの楽市門戸厄神店、食品ディスカウントのスピード南津守店を、酒類を中心とした嗜好品の専門店として、業態転換を図る改装を行い、店名を「やまや」に変更し、順調に売上高を伸ばしています。

期中の新店は、泉野村店、市名坂店（仙台市）、鶴田店（宇都宮市）、高津店（土浦市）の4店を開店しました。

東日本大震災による津波の被害で、鹿妻店（石巻市）、塩釜貞山店（塩釜市）の2店、同震災の地震の被害で、富久山店（郡山市）の計3店舗をやむなく閉鎖いたしました。甚大な被害を15店舗で受けましたが、その他の店舗では、通常営業を再開し、震災復旧をほぼ完了しております。当社グループの総店舗数は263店舗になりました。

これらの結果、当第1四半期における連結業績は、売上高が269億6百万円（前年同期比100.1%）、営業利益は9億61百万円（前年同期比140.3%）、経常利益は10億30百万円（前年同期比149.5%）、四半期純利益は6億31百万円（前年同期比218.0%）と増収増益となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

財政状態

	前連結会計年度末 (平成23年3月31日)	当第1四半期 連結会計期間末 (平成23年6月30日)	増減
総資産(百万円)	32,593	33,334	741
総負債(百万円)	16,244	16,539	295
うち借入金(百万円)	5,108	3,959	△1,148
純資産(百万円)	16,348	16,794	446
自己資本比率	50.2%	50.4%	0.2%
1株当たり純資産(円)	1,657.85	1,703.10	45.25

総資産は、前連結会計年度末と比べて7億41百万円(2.3%)増加し、333億34百万円となりました。

前連結会計年度末は、東日本大震災の直後であり、緊急時に備えて現金及び預金の残高を増加させておりました。

しかし、当第1四半期連結会計期間末では、現金及び預金は9億99百万円減少し、借入金につきましても11億48百万円減少しております。

前連結会計年度末の商品及び製品は、2月まで継続的に在庫削減を推進していた中で、東日本大震災に被災し、商品被災損失に6億78百万円を計上いたしました。また、酒類・食料品の製造業者も被災し商品の供給が間に合わなかったこと、運送業界の燃料不足などにより物流が十分に機能しなかったことなどにより、72億50百万円の在庫でした。

しかし、当第1四半期連結会計期間末では、商品の供給が回復したこともあり90億3百万円となりました。ただし、前年同四半期末と比較しますと、4億93百万円減少しており、着実に在庫削減が図られております。

この結果、流動資産は、現金及び預金が9億99百万円減少し、商品及び製品が17億52百万円増加したことなどにより、前連結会計年度末と比べて8億49百万円(6.0%)増加し、150億74百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末と比べて1億8百万円(△0.6%)減少し、182億60百万円となりました。

総負債は、前連結会計年度末と比べて2億95百万円(1.8%)増加し、165億39百万円となりました。

流動負債は、買掛金で17億4百万円増加したものの、短期借入金で10億円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べて4億50百万円(3.4%)増加し、138億94百万円となりました。

固定負債は、長期借入金が1億48百万円減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べて1億55百万円(5.5%)減少し、26億45百万円となりました。

純資産は、前連結会計年度末と比べて4億46百万円(2.7%)増加し、167億94百万円となりました。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の50.2%から50.4%となりました。

②連結キャッシュ・フローの状況

(単位：百万円)

	前第1四半期 連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期 連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	増減
営業キャッシュ・フロー	1,064	463	△600
投資キャッシュ・フロー	△242	△146	96
フリー・キャッシュ・フロー	821	316	△504
財務キャッシュ・フロー	△439	△1,316	△877

当第1四半期連結会計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度と比べて9億99百万円減少し、28億66百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動で得られた資金は、4億63百万円となり、前年同四半期と比べて6億円減少しました。

主な要因は、税金等調整前四半期純利益が10億30百万円、減価償却費が3億19百万円となり資金が増加しました。一方で、東日本大震災の影響による商品の供給不足の状況が回復したことにより、たな卸資産が増加し17億36百万円の資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動に使用した資金は、1億46百万円となり、前年同四半期と比べて96百万円減少しました。

主な要因は、新たに4店舗の出店し5店舗の改装したことにより有形固定資産の取得に1億40百万円を支出したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動で使用した資金は、13億16百万円となり、前年同四半期と比べて8億77百万円減少しました。

主な要因は、短期借入金の返済に10億円、長期借入金の返済に1億48百万円、配当金の支払に1億67百万円を支出したことによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、現時点では平成23年5月31日に公表した数値からの変更はありません。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,866	2,866
売掛金	962	1,191
商品及び製品	7,250	9,003
仕掛品	69	54
原材料及び貯蔵品	17	15
前払費用	350	337
繰延税金資産	398	246
その他	1,309	1,359
流動資産合計	14,224	15,074
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	15,899	16,003
減価償却累計額	△8,919	△9,073
建物及び構築物(純額)	6,980	6,929
機械装置及び運搬具	2,540	2,553
減価償却累計額	△1,782	△1,829
機械装置及び運搬具(純額)	758	724
工具、器具及び備品	4,198	4,303
減価償却累計額	△3,293	△3,367
工具、器具及び備品(純額)	904	935
土地	5,018	5,018
建設仮勘定	105	52
有形固定資産合計	13,767	13,660
無形固定資産		
ソフトウェア	35	32
電話加入権	20	20
施設利用権	2	2
のれん	112	98
その他	2	2
無形固定資産合計	173	156
投資その他の資産		
投資有価証券	373	343
関係会社株式	271	271
出資金	2	2
破産更生債権等	36	36
長期前払費用	112	118
差入保証金	3,346	3,365
繰延税金資産	321	341
その他	30	30
貸倒引当金	△65	△65
投資その他の資産合計	4,428	4,444
固定資産合計	18,368	18,260
資産合計	32,593	33,334

(株)やまや(9994)平成24年3月期 第1四半期決算短信

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	6,490	8,195
短期借入金	3,300	2,300
1年内返済予定の長期借入金	595	595
未払金	1,089	792
未払費用	419	426
未払法人税等	622	892
未払消費税等	184	216
預り金	60	181
賞与引当金	581	191
その他	99	101
流動負債合計	13,444	13,894
固定負債		
長期借入金	1,212	1,063
退職給付引当金	30	28
役員退職慰労引当金	427	431
資産除去債務	494	503
負ののれん	176	161
その他	459	458
固定負債合計	2,800	2,645
負債合計	16,244	16,539
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,247	3,247
資本剰余金	6,055	6,055
利益剰余金	7,029	7,493
自己株式	△0	△0
株主資本合計	16,332	16,796
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16	△1
その他の包括利益累計額合計	16	△1
純資産合計	16,348	16,794
負債純資産合計	32,593	33,334

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	26,873	26,906
売上原価	22,595	22,220
売上総利益	4,278	4,685
販売費及び一般管理費	3,592	3,724
営業利益	685	961
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	3	3
受取賃貸料	14	23
受取手数料	8	8
業務受託手数料	3	2
負ののれん償却額	14	14
持分法による投資利益	—	0
その他	9	39
営業外収益合計	55	95
営業外費用		
支払利息	8	4
店舗改装費用	21	2
賃貸収入原価	10	14
持分法による投資損失	5	—
その他	5	5
営業外費用合計	51	26
経常利益	689	1,030
特別損失		
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	174	—
固定資産除却損	5	—
特別損失合計	180	—
税金等調整前四半期純利益	508	1,030
法人税、住民税及び事業税	141	254
法人税等調整額	77	144
法人税等合計	218	398
四半期純利益	289	631

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	289	631
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	△17
その他の包括利益合計	△8	△17
四半期包括利益	281	613
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	281	613

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	508	1,030
減価償却費	312	319
長期前払費用償却額	3	4
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	174	—
固定資産除売却損益 (△は益)	5	—
のれん償却額	14	14
負ののれん償却額	△14	△14
持分法による投資損益 (△は益)	5	△0
支払利息	8	4
受取利息及び受取配当金	△5	△5
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△245	△390
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	22	△2
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	3	3
未収入金の増減額 (△は増加)	△24	68
売上債権の増減額 (△は増加)	△190	△228
たな卸資産の増減額 (△は増加)	16	△1,736
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,007	1,704
その他	14	△141
小計	1,618	628
利息及び配当金の受取額	3	3
利息の支払額	△8	△4
災害損失の支払額	—	△225
法人税等の支払額	△549	60
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,064	463
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△249	△140
長期前払費用の取得による支出	△2	△1
差入保証金の差入による支出	△53	△67
差入保証金の回収による収入	63	54
その他	—	8
投資活動によるキャッシュ・フロー	△242	△146
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	—	△1,000
長期借入金の返済による支出	△232	△148
自己株式の取得による支出	△0	—
配当金の支払額	△207	△167
財務活動によるキャッシュ・フロー	△439	△1,316
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	380	△999
現金及び現金同等物の期首残高	2,501	3,866
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,882	2,866

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。